

舟形町史

當所正八幡宮興託

同所新山大明神

本誌十年八月
録日四月八日

正八幡太袖

應神天王神靈

義高家代々御神

兩社革創之御願至首源義高從文五庚子

平八月朔日移當家而貞治元壬寅年申轉攝

要書宗氏神建立也神所資社料等有奇焉

之使宮下某

當捕

內石白山之什故二家上川
一曰二家流一曰二家勿田也

平結高不堅固地亦不宜用茲後移山成嶺

天年者天田谷一嶺上有沢只字谷河
一曰首峻祖一曰首山續此奉

故又此山頂鎮

座別當者

永殿亦
以慶等

但本丸之外一段高地也建

後代當以破却大乃元和中今茲林岳遷

舟形町史



戊辰戦争舟形合戦圖（鶴岡市 致道博物館所蔵）





舟形町史発刊にあたって

舟形町長

澤内甚一郎

思いかえせば昭和四十五年、多くの町民の方々から強い要望と合わせ「町制二十周年記念」として、町史編さん事業が企画発足しました。

この度一〇ヶ年余の長い歳月を経て今ようやく完成の運びとなりました。この間多くの方々のご協力はもとより町史編集委員のたゆまぬご協力により、資料集十巻を出版したのをはじめ「ふるさと歴史散歩」を刊行するなど、伝承史料の保存等に努めてまいりました。

「温故知新」、まさしくこの言葉が物語るように私達の住む郷土舟形町にも多くの歴史が刻まれ、その史実と史跡が当時をしのばせるわけですが、それは祖先の温い愛情と尊い血と汗の結晶なのであります。

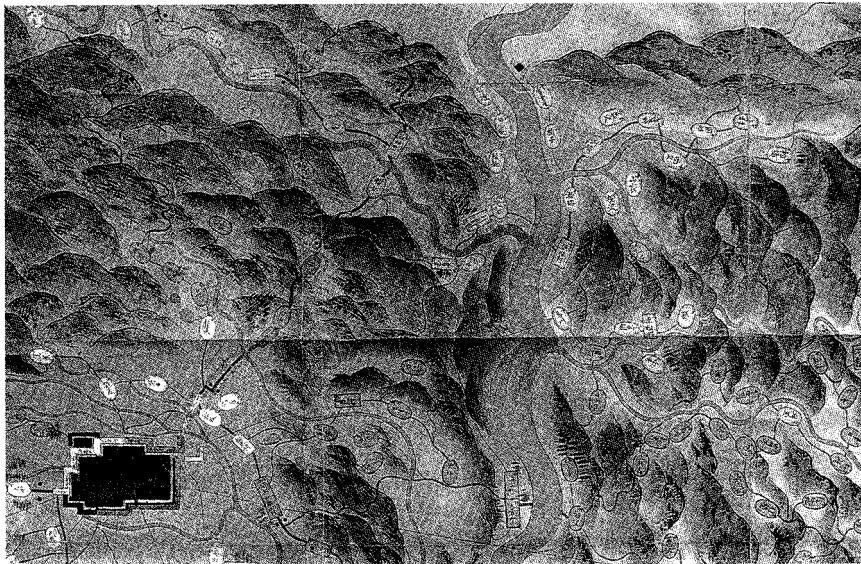
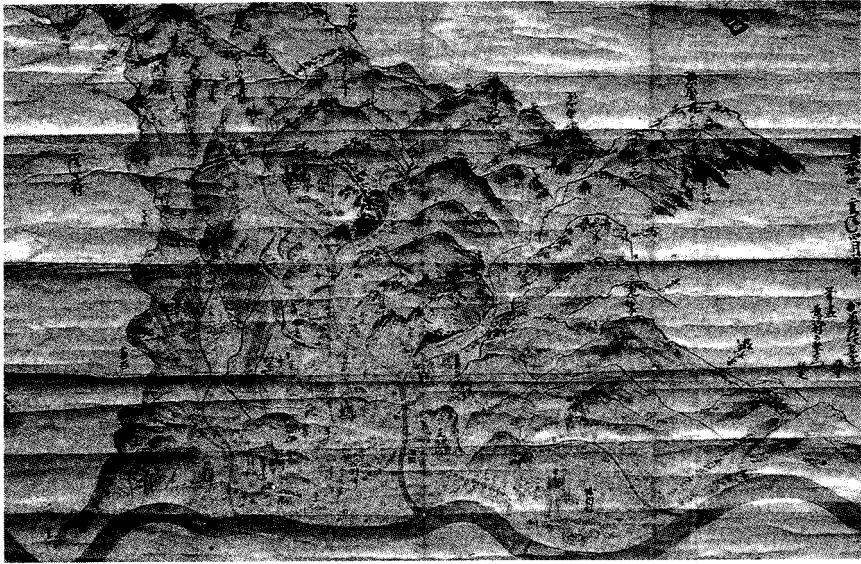
この貴重な史料を永く継承すると共に町政発展の指針として将来とも役立てねばと考えます。このような意味でも町史の発刊は大変意義あるものに存じます。町民の皆さんに一人でも多くこの書が親しまれ、いつまでも座右の書として、我が町の生いたちについて正しい理解と新たな認識を深めていただけるならばこの上ない喜びと存じます。

なお、この書を発刊するに当たり調査、研究、執筆に当たられました諸先生方のご苦勞に対し深く敬意と感謝を申し上げ発刊のことばといたします。

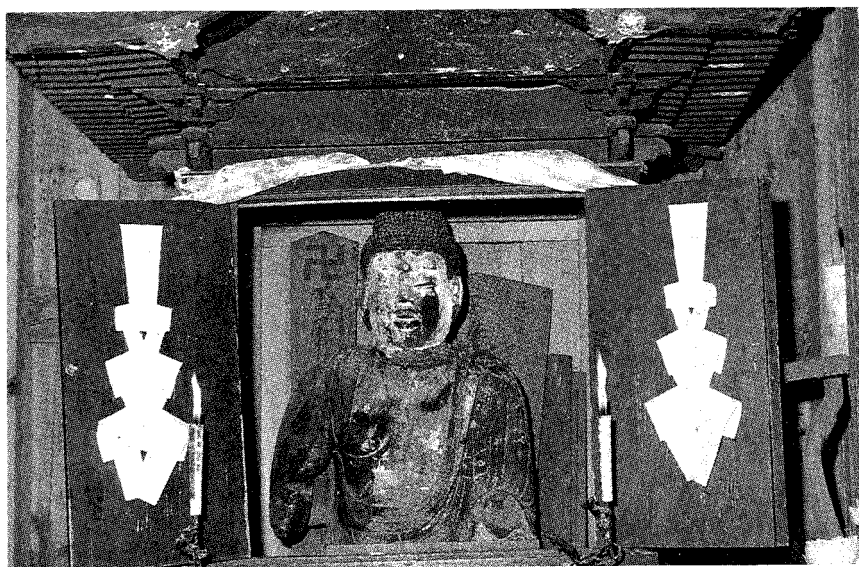
昭和五十七年三月十五日



舟形町中心部の航空写真



藩政時代の舟形絵図（新庄図書館所蔵）



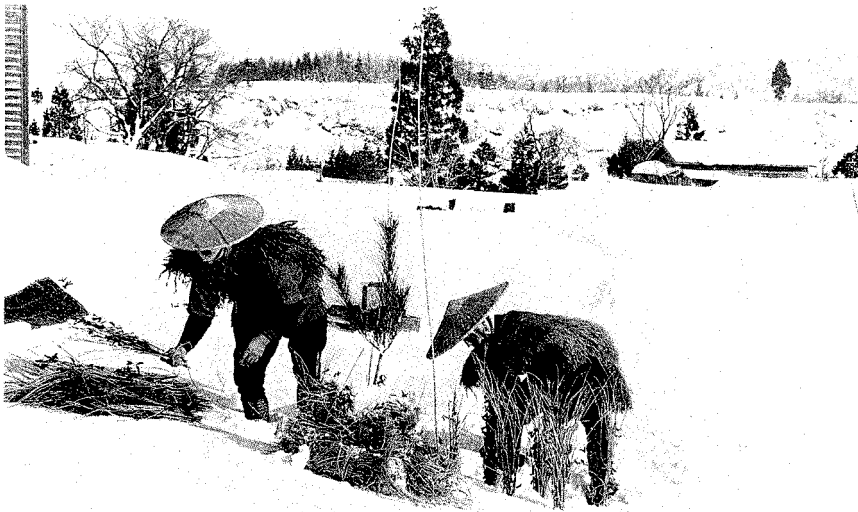
薬師如来座像（松橋）



林昌院開基の茶釜（富田 林昌院所蔵）



熊野神社仏像（長尾）



庭田植（堀内地区）

舟形町史 目次

舟形町史発刊にあたって……………舟形町長 澤内甚一郎

第一章 舟形町の自然……………1

第一節 位置および地勢……………2

第二節 地形……………3

1 河岸段丘 2 沖積低地 3 山地

4 第四紀以降の褶曲運動について

第三節 地質……………16

1 概説 2 新第三系 3 第四紀系 4 地質構造

5 応用地質

第四節 気候……………36

1 気候概説 2 気温 3 降水量 4 積雪

5 風 6 気象災害と異常気象

第二章 石器時代の郷土……………87

第一節 人の住みはじめ……………88

第二節 縄文時代……………90

1 大畑山遺跡 2 平林遺跡 3 荷渡遺跡

第三節 弥生時代……………96
第四節 古墳文化……………99

第三章 古代の郷土……………101

第一節 出羽国の成立……………102
第二節 出羽国分寺と葉山神……………105
第三節 古代の交通・避翼駅……………112
第四節 口分田と条里制……………117
第五節 藤原氏と荘園……………119

第四章 中世の郷土……………123

第一節 鎌倉時代……………124
第二節 南北朝時代……………128
第三節 室町時代・板碑と経塚……………131
第四節 猿羽根楯と長沢楯……………142
第五節 戦国末期の形勢……………157

第五章 近世の舟形……………169

第一節 時代の動き……………170
第二節 村の構成……………173
第三節 代官・庄屋と農民……………177
第四節 各村の概況……………184

第五節 検地	214
1 領内総検地(寛文・延宝).....	2
2 天和の盛付.....	
3 正徳の地方始末帳.....	4
4 天保の改革計画.....	
5 舟形町村.....	2
6 長沢村.....	3
7 富田村.....	4
8 長者原村.....	
9 堀内村.....	

第六節 年貢・運上・御用金	238
1 本途物成.....	2
2 検見.....	3
3 年貢納入.....	4
4 小物成について.....	
5 御用金と夫役.....	

第七節 御触書	269
1 正徳の「覚」.....	2
2 寛保の条目.....	3
3 宝暦の儉約令.....	
4 文化の条々.....	5
5 文化の儉約令.....	6
6 衣・食・住の統制.....	
7 博奕禁止.....	8
8 農休日.....	

第八節 交通	309
1 宿場町・舟形.....	2
2 巡見使案内帳.....	3
3 舟形番所.....	
4 人馬往来改・留物.....	5
5 犬の伊勢参り.....	6
6 堀内川舟改所.....	

第九節 山林の制度	340
1 領内の森林資源.....	2
2 御判紙場と山守.....	3
3 留木の制度.....	
4 樹木植立奨励と運上.....	5
5 木材の領外移出.....	6
6 漆の植立奨励.....	
7 野火禁止令.....	8
8 長者原・鳥越村山論.....	

第十節 農民階層・百姓騒動	367
1 農民階層.....	2
2 百姓騒動.....	

第十一節 飢饉と人口	388
1 宝五の飢饉.....	2
2 天明の飢饉.....	3
3 天保巳年の飢饉.....	

4	領内人口	5	間引きと離村	6	人口政策
	キリスト教禁止と宗門改め				422

1	宣教師の活躍	2	信徒の弾圧	3	切支丹宗門改め
	福寿野の開発				440

1	村のはじめ	2	開発の進展	3	開発の苦勞
4	肥料と畑作	5	用水の確保		
	幕末・農民のくらし——両徳院亮智書留——				493

1	両徳院「万留帳」	2	嘉永のころ	3	「万留帳」二
4	「万留帳」三	5	「万留帳」四	6	御百姓子孫繫手引草

第六章 明治時代の舟形

	第一節 新しい時代へ	534
--	------------	-----

1	戊辰戦争と舟形	2	行政区画の変遷	3	地租改正と地価修正
4	「山岳原野官民有区別願」について	5	徴兵制初期の徴兵と従軍		
	第二節 道路開削と舟形橋				590

1	三島通庸と新道	2	交通の十字路	3	猿羽根新道
4	小国・本合海新道	5	舟形橋の架橋	6	明治天皇の巡幸
	第三節 学校教育の発足と普及				606

1	小学校の創立	2	明治期の教育と村びと		
3	教育会と児童保護会	4	古老の思い出	5	学校の移り変わり
	第四節 日清・日露戦争				643

1	軍歌のころと戦争	2	「兵役者義遇規約」のこと		
3	日清戦争と村の動き	4	「征清日記」のこと		

					643
--	--	--	--	--	-----

					606
--	--	--	--	--	-----

					590
--	--	--	--	--	-----

5	日露戦争と帝国軍人会	6	目清・日露戦争戦病死者名簿
第五節 通信・運輸・鉄道の開通……………668			

1	郵便制度の発足	2	陸運会社・丸通運送
3	電信・電話・電灯	4	舟形駅・長沢駅の開設
第六節 舟形駅開設と新しい産業……………684			

1	舟形駅開設の頃	2	最上川舟運の変化
3	養蚕・製糸業の展開	4	農業技術の発展
第七節 自治の発達……………731			

1	町村制の施行と舟形・堀内両村の成立	2	村政を担った人々
3	傑出した政治家・沼沢清五郎	4	政治抗争の局面
5	ユスナゴ事件	6	創立期の青年団活動
第七章 大正から昭和へ……………765			

第一節 大正時代の主な出来事……………766			
------------------------	--	--	--

1	大正二年の冷・水害凶作	2	木友炭鉱の日鮮坑夫乱闘事件
3	陸羽東線敷設工事における強制労働	4	雪による事故
5	舟形村の大火		
第二節 舟形の亜炭田と炭鉱の概要……………783			

1	舟形の亜炭層	2	明治期の亜炭生産の試み
3	各炭鉱の概要		
4	友子制度のこと		
第三節 関東大震災と郷土……………813			

1	国内未曾有の大災害	2	罹災者と帰郷者
3	罹災者への救援活動		

第四節 開墾事業の進展……………825

第五節 地主制の展開と地主・小作関係の態様……………866

第六節 農業恐慌下の舟形……………899

第七節 戦時下の生活……………934

第八章 戦後の舟形……………963

第一節 舟形町が成立するまで……………964

第二節 新舟形町の誕生とその発展……………1027

- 1 民主化政策と舟形・堀内両村の動き
- 2 戦後開拓
- 3 農地改革の概要
- 4 堀内の石油生産と舟形油田開発の試み
- 5 設立初期の農協と商工会議所の歩み
- 6 復興に立ち上る村
- 1 町村合併促進の経過
- 2 新舟形町の発足と新庁舎の落成
- 3 道路交通網の整備拡充
- 4 バス路線と舟形駅の無人化

第三節	町の變遷……………	1054
	5 社会教育・レク施設と猿羽根山観光……………	
	1 過疎化と高齢化が進む町……………	
	2 農政の轉換と町の変化……………	
	3 工業及び商業の發展……………	

第九章 民俗……………1101

第一節	舟形町の年中行事……………	1102
-----	---------------	------

第二節	小国川の魚類……………	1127
-----	-------------	------

- | | | | | | | | |
|----|---------|----|------|----|-------|----|-------|
| 1 | ヤツメウナギ科 | 2 | サケ科 | 3 | アユ科 | 4 | ナマズ科 |
| 5 | ギギ科 | 6 | コイ科 | 7 | ドジョウ科 | 8 | ライギョ科 |
| 9 | クモハゼ科 | 10 | ウナギ科 | 11 | カジカ科 | 12 | メダカ科 |
| 13 | その他 | | | | | | |

第三節	小国川・最上川の漁法……………	1160
-----	-----------------	------

- | | | | |
|---|-------|---|--------|
| 1 | 小国川漁法 | 2 | 最上川の漁法 |
|---|-------|---|--------|

第四節	長沢の紙漉き……………	1195
-----	-------------	------

第五節	長沢のサンゲサンゲ行事……………	1205
-----	------------------	------

第六節	舟形地区の病送り……………	1211
-----	---------------	------

第七節	契約講と頼母子講……………	1215
-----	---------------	------

第八節	屋根葺文書……………	1229
-----	------------	------

第九節	堀内田植踊り……………	1234
-----	-------------	------

第十節	猿羽根地藏……………	1237
-----	------------	------

第十一節	舟形町の石碑・石仏……………	1242
------	----------------	------

第十二節	福寿野の若衆契約・病送り……………	1253
------	-------------------	------

